

第3期中期目標期間における 教育研究の状況に係る評価の概要



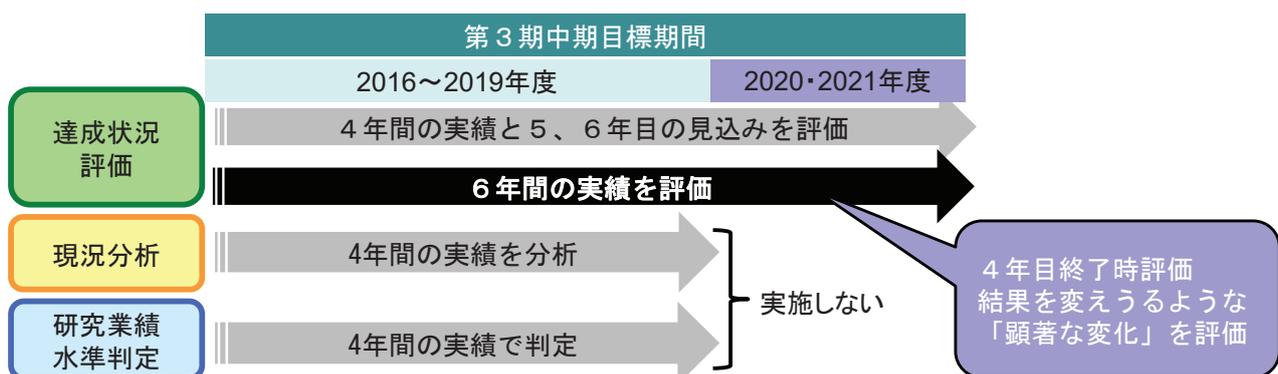
独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構



4年目終了時と中期目標期間終了時の評価

- 4年目終了時評価における達成状況評価では、中期目標期間終了時に見込まれる実績（4年間の実績と5、6年目に見込まれる実績）から中期目標に関する達成状況を評価している。（その際、現況分析によって、研究所等单位で研究の水準（質の向上の状況を含む）をきめ細かく把握）
- 中期目標期間終了時における達成状況評価では、法人が4年目終了時評価結果を変えうるような「顕著な変化」があったと判断した場合に達成状況報告書（実績報告書）への記載を求めることにより、中期目標に関する達成状況を評価する。





達成状況評価の概要（中期目標の構成）

中期目標の構成及び達成状況評価

- 中期目標を3階層（大項目、中項目、小項目）に区分し、小項目重視の評価で段階判定の結果を積み上げて、最終的に大項目の評価結果を導く。

《法人の中期目標・中期計画の構成イメージ》

中期目標	中期計画
(前文) 大学の基本的な目標	
◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 1 中期目標の期間 2 教育研究上の基本組織	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 大項目 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標 中項目 ○個別の中期目標A } 小項目 ○個別の中期目標B } ○個別の中期目標C } (2) 教育の実施体制等に関する目標 中項目	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 ○達成するための具体的な措置 a } 中期計画 ○達成するための具体的な措置 b } ○達成するための具体的な措置 c } (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

2

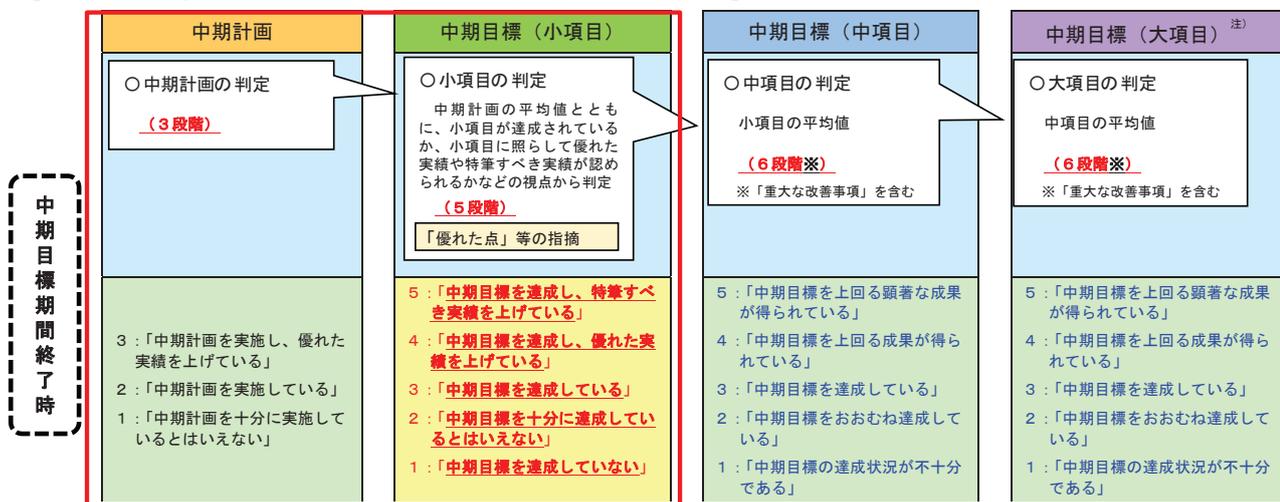


達成状況評価の概要（段階判定の流れ）

“評価方法”における第3期のポイント

- 中期計画を3段階判定、小項目を5段階判定とし、法人ごとに具体的な中期目標が設定されている小項目に対する評価を重視した仕組みとする。
- 中期目標期間終了時評価では、中期目標及び中期計画の達成状況について、4年目終了時評価結果を変えうるような顕著な変化を捉える。

【第3期中期目標期間 教育研究評価 達成状況評価 判定イメージ】



注) 基準となる達成状況を「中期目標を達成している」に置く

3